

入社式における社長メッセージについて

～「人間力」を高め、常に理想を高く持ち、新しい発想と変革への意思を持って果敢に挑戦を～

記者各位

本日、開催いたしました「2007年度入社式」における、当社社長 西尾 進路による新入社員へのメッセージは以下のとおりです。また、社長挨拶の後、常務以上が一言コメントし、新入社員全員による決意表明が行われました。

なお、本年度の新入社員数は141名（内訳：大学院・大学卒/事務系＝22名・技術系＝63名、高専卒技術系＝3名、高校卒＝53名）となります。

当社グループでは、経営理念として「Your Choice of Energy、エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します」を提唱しているが、石油はもちろんのこと、電気やガス、水素にいたるまで、あらゆるエネルギーを安定的に供給することでエネルギーの将来を担い、同時に地球環境に配慮したエネルギーを創造することで自然と調和した社会を実現し、人々から最も信頼される企業グループになるという、「総合エネルギー企業」を目指している。

現在、日本経済は景気回復局面がつづいているが、アジアを中心とした世界的な石油需要の増加などによる原油の高価格局面が継続する一方で、国内の石油製品の需要は減少が続いており、当社事業の中核を担う石油精製・販売部門にとっては非常に厳しい環境となっている。また、当社、および石油業界の将来を展望してみると中長期的にはさまざまな課題が山積している。そのような状況下において、1999年以降、コスト削減など厳しい経営効率化を進めて来た。2005年度から2007年度の第3次中期経営計画においては、将来の飛躍に向けた基礎固めに取り組んでいる。来年2008年度からは、第4次中期経営計画が始まり、最終年度の2010年度には、「一貫操業体制」と「総合エネルギー企業グループ体制」を確立し、将来に亘って飛躍することを目指す。

2007年度において、当社は次の3点に注力する。

1つ目は、「第3次中期経営計画の完達」。将来の飛躍に向けて、成長分野への積極的な戦略投資を実行するとともに、コスト削減や効率化も引き続き推進し、最適な事業ポートフォリオの構築に向けて全力を傾けていく。2つ目は、「商品やサービスの質へのこだわり」。良い品を他社より安く作り、それをお客様に理解していただいたうえで、適正価格で販売し、得られた利益をさらに良い商品やサービスの開発に充当していく、このサイクルを確立することを徹底する。3つ目は、「CSR経営の推進強化」。当社は、「環境への配慮」「コンプライアンス」「人間尊重」「品質の向上」「情報セキュリティ」「社会への貢献」を重要なCSRの柱としており、これに基づく経営を強化していく。

最後に、新日本石油の社員として期待することを述べる。

会社の発展に一番大事なのは社員一人ひとりの「人間力の高さ」と、これを基盤とした信頼関係や活力ある組織であると考えられる。「人間力の高さ」とは、常に高い志と倫理観を持って物事にあたることができるかということ、そして、前例や既成の概念にとらわれずに挑戦する気概をもつことができるかということである。さらに、社会人としての責任や義務をしっかりと果たしていくことも忘れてはいけない。

また、この「人間力」は自分ひとりの力だけで高めることができるものではありません。共に働くという「協働の意識」を大切に、積極的にコミュニケーションをとることを心掛け、フェイス・トゥー・フェイスのコミュニケーションを大切にすることが信頼関係や活力ある組織の原動力となる。

社員一人ひとりの人間力が、新日本石油の企業としての実力を左右する。常に理想を高く持ち、新しい発想と変革への意思を持って果敢に挑戦する、そんな人間として大きく成長してほしい。

以上